

睡眠障害内科の標榜について

これまで当院では内科・脳神経内科・小児科を標榜しておりましたが、医療法施行令の改正により、「睡眠障害」が標榜科として新たに認められ、当院でも「睡眠障害内科」を標榜することと致しました。

睡眠障害は範囲が広く、患者数がとても多い不眠症については精神科/心療内科を専門としながら一般内科で診ることも多く、睡眠時無呼吸症候群については、脳・横隔神経・気道・肺・心臓と多岐に渡る臓器に関わることから、脳神経内科・耳鼻咽喉科・呼吸器内科・循環器内科等、多岐に渡る診療科で診療が行われてきており、当院にも既に沢山の患者さんがいらっしゃいます。

脳神経内科はこの他にも、レム睡眠時行動障害やムズムズ脚症候群（四肢静止不能症候群、レストレスレッグス症候群）、ナルコレプシー、こむら返り等、睡眠に関わる様々な症状の診療に当たります。

この度、総合内科医・脳神経内科医として、これまで沢山の睡眠障害患者さんに関わってきた経験から、睡眠障害内科を標榜させて頂き、ナルコレプシーや非典型的・難治性の睡眠障害等、専門性の高い睡眠障害については、日本睡眠学会専門/登録医療機関等の高次施設を紹介させて頂きます。

睡眠について気になる症状がございましたら、お気軽にご相談下さい。

2026年6月 沼ノ端内科・脳神経クリニック 院長